

発行者／青森県中小企業家同友会 〒030-0931 青森市平新田字森越 12-28-2F
TEL017(752)0171 FAX017(752)0170 URL/http://aomori.doyu.jp/ E-mail/info@aomori.doyu.jp

津軽支部例会

激動の世界の中で 経営指針と共に歩む



◆報告者◆

(株)白鳥プロパン(青森支部)

代表取締役社長 白鳥 五大 氏

(2022/5/19 参加 16名)

★★★ 感想文 ★★★

白鳥プロパンは燃料を販売することを単なる物売りではなく、「暖かい空間」をお届けする仕事ととらえています。ライフラインをつなぐ力に強い使命感を抱き、地域の暮らしを豊かにするために貢献しています。

激動の世界がもたらす変化はマイナス要因として重くのしかかる事が多い業種であり、また環境に配慮された器具等の販売を推進する一方で、主力商品のガスや灯油はCO2をモクモク排出してしまう、相反していることに苦しんでおられたのが特に印象に残りました。

自分たちに今できることは何か。経営指針に立ち返って幾つもの新規事業を立ち上げています。例えば県内で初めて発売を開始したカーボンオフセット LP ガス、中古車 EV 利用のV2H等、次々アイディアを出される事、実現する実行力、とても刺激になります。働きやすい環境を整えているのはもちろん、



お客様や取引先に幸せを感じてもらうことで社員さんにも幸せになってほしいと願っており、それが白鳥さんご自身も幸せになれる、みんなにとってのいい会社だとお考えです。

社員さんを心から大切にしている暖かさがたっぷり伝わる素晴らしい報告でした。

記/(株)三共 代表取締役 奈良 栄治 氏



青森支部例会

代表理事、
2022 年度を大いに語る。



◆報告者◆

青森県中小企業家同友会

代表理事 **大坂 憲一** 氏

(青森支部)

((株)大坂組 代表取締役社長)

(2022/5/20 参加 37 名)

★★★ 感想文 ★★★

大坂代表理事のスケールの大きなお話からは、いつも夢を与えて頂いています。今回の報告も多方面にわたる取り組み、構想、世界観などをお話し頂き、隣に後継者たる大坂専務が PC を操作する中、微笑ましくも大変濃厚な貴重な報告の時間となりました。

ご自身が長く会長を務められた「日本を美しくする会」青森県会での活動から(株)イエローハット創業者鍵山秀三郎先生のトイレ掃除と「凡事徹底」のお話、「盛和塾」での京セラ創業者稲森和夫先生とのエピソード、会社の壁面と社屋入り口を飾る相田みつを先生の言葉「しあわせは いつもじぶんの ところが きめる」に込めた思いやエピソード、創業以来の「礼儀・努力・忍耐」の社是にまつわるお話、空中ドローンや今取り組まれている水中ドローンのお話。第1期生としての経営指針策定での苦労、「わだば、ゴッホになる」のスローガンの下、実行委員長として手掛けた2003 青年経営者全国交流会青森開催でのお話等など、ここには書ききれない程多岐に渡る内容でした。

歩んだ道を振り返る中、今思う事、これからの構想等を披露頂きました。その向上心と行動力、自身で思うあるべき姿へと向かう姿勢等、経営者として一個人として青森同友会においてこれからも大いに学ばせて頂きたいと思います。ありがとうございました。

それと、個人的にグループの報告の中で9月開催予定の企業展 PR を上手くできず、大変心残りです。実際の開催時に、埋め合わせができる様協力することをお約束いたします。

記/(株)白鳥プロパン 代表取締役社長 白鳥 五大 氏

下北支部例会

東通の魅力

～地元の魅力再発見！～



◆報告者◆

(有)コスモクリエイト 代表取締役

東通村観光協会 会長

氣仙 修 氏 (下北支部)

(2022/5/24 参加 13 名)

★★★ 感想文 ★★★

灯台下明るし！東通村の沼にハマってしまう

地元の魅力の引き出し方や、発信の仕方など、とても盛りだくさんのお話でした。

地元を発展させていくには、子ども達に地元を知り大切にする教育と、大人が学生から学ぶということがポイント。子ども達に地元の花木鳥を尋ねても殆んどが「知らない」と答えるそうです。子どもの教育の中に地元の経済や歴史を楽しく学ぶ機会があることは、地元を自慢できる心が育ち、これからの地元を担って行くとても大切なことだと思いました。そして、大人が学生から IT 等を学び、柔軟な発想を聞く姿勢が必要だと思いました。都市部との交流・大学生との交流事業などで、豊かな自然とその中の暮らしを体感し、地域のファンづくりや、まぜこぜの仲間の「ぬぐだまり」で地域と企業の成長を促す、若者が夢と希望を持てる土台作りを拡充していくという素晴らしい取り組みです。

様々な接点を見つけて、枠にはまらない発想を用いて企画し実行する、その原点は常にみんなと対話すること。子どもの頃からの関わりがあるからこそ興味や社会性が備わり、無理やりではなく若者を巻き込む輪ができるのだと思いました。お互いが困っているところに目を向け、楽しく解決していく活動もアイデアが組み込まれていると感じました。

今ある資源を掘り下げて見つめ直し、隠れた魅力を引き出す、付加価値を加える、繋がる方法の見つけ方など、たくさんの発想・気づきをいただきました。ありがとうございました。氣仙さんの気さくなのに熱い心意気に魅了されました。

ビジネスモデルは東通村の灯台下にあり！です。

記/(一社)りあん 理事長 中西 直美 氏

上十三支部例会

地方銀行の経営統合による
地域への影響



◆報告者◆

(株)青森銀行
ビジネスパートナー部 部長
(株)フロクレアホールディングス
地域共創部 部長

高橋 秀成 氏 (青森支部)
(2022/5/26 参加 18名)

☆☆☆ 感想文 ☆☆☆

高橋氏は都心銀行へ出向した経験を活かし、本部・各支店長を経て現在は経営統合の基盤づくりに携わっています。

青森に住む私たちにとって、青森銀行とみちのく銀行の合併については大きな影響が考えられる為、非常に興味深いお話になりました。

2022年4月から「挑戦と創造」を掲げた経営計画を進めています。両行の強みを活かした、金融の枠に捉われない地域産業の発展と地域住民の生活向上に貢献するといった地域課題に寄り添った明るく豊かな未来を創るとしています。また、地域共創・総合商社として事業領域の拡大に取り組み、2025年1月にはワンバンクとして今後のシナジー効果が見込まれます。地域の利便性の向上に繋がると共に、私達中小企業にとってもより身近な金融機関となる事を期待したいです。

記／(株)想い工房 取締役 吉田 亮子 氏



八戸支部例会

夢いっぱいの理念経営



◆報告者◆

(有)たんぼぼ運送

代表取締役

稲葉 晃 氏 (津軽支部)

(2022/5/27 参加 39名)

☆☆☆ 感想文 ☆☆☆

「サービス品質を向上させるには。」

私は、新卒2年目で会計事務所に勤務している藤林葵生です。今回初めて支部例会に参加し、稲葉氏からの報告を聴講いたしました。

今回の報告を受け、共感したことは、経営理念を社員に浸透させる重要性和、従業員の満足度を重視する社内方針です。経営理念を社員が認識することで、経営の方向性を示す羅針盤の役割を果たし、未来志向を形成することができます。それを社員と議論することで能動性も高まります。サービスを顧客へ提供する接点は従業員の方が多いので、能動性が高まると必然とサービス品質が高まると思います。これらの要素が絡み、(有)たんぼぼ運送様の会社の成長性に繋がったのではないかと感じました。

最後に、創始者から100年後の社員へのメッセージを石碑にしたお話がとても夢があり、素敵だなと思いました。貴重なお話を聞く機会を頂き有難うございました。

記／(株)近田会計事務所 藤林 葵生 氏





第3回東北青年経営者フォーラム in 宮城

2022/6/4 青森参加6名（全体参加63名）

参加者感想文

『話をする大切さ』

今回初めて全国行事へ参加し、他県の同友会会員との交流をしたことで、新たな視点でお話を聞くことが出来て、大変良い経験となりました。そして猿子さんの講演を聞き社員とのコミュニケーションの重要性について、改めて気付かされました。

報告の中で「かっこ悪くても本音をさらけ出すことから出来る関わりがある」というお話を聞き、会社のビジョンに向けて自分の考えを社員へ伝え真摯に向き合うことが会社をより良くするきっかけになると感じました。また、話すことはお互いを知ることができ、お互いに誤解があればそれを解くことが出来る大切な要素です。そのため、良好な関係を築きながら将来性のある働きやすい環境作りを目標に社員が安心して働ける会社を目指していきたいと思います。

【記】(株)大坂組 専務取締役 大坂 将史氏

今回、猿子さんの報告を聞いて印象的だったことは、父である先代から大変な状況で会社を引き継いだにも関わらず、先代に不平不満を持つことなく仕事に打ち込まれていたことです。質疑の中でもお話しされていましたが、生花農家のなかった雫石で花を育てて利益を出せる事を証明し、地元で産業の基礎を築いた先代をととても尊敬されており、「お前は好きにやればいい。最後は俺が何とかする。」という言葉で、安心して仕事に打ち込めたとおっしゃっていました。親子関係としても素

晴らしいのですが、上司と部下の関係としても理想的で、このようにスタッフが経営者や上司に尊敬の念を抱き、また安心して職務に専念できる職場環境を作っていきたいと強く思いました。

【記】八戸酒造(株) 常務取締役 駒井 伸介氏

恐らく報告の感想などは他の参加者が書いてくれていると思うので、私は別の視点で。

これまで東北5県で開催されていた同フォーラムも、青森同友会青年部会の設立を控えていることもあり、初めて東北6県共催での開催が実現しました。

私は今回、青森同友会として初めて「東北ブロック青年部連絡会」に参画して設営の準備から、複数回に及ぶプレ報告を重ねる状況を拝見していて、みんな本気で関わるということを実践していることに驚きました。（青森はどちらかというとドライですね）

最後のプレ報告はフォーラムの2日前でした。私は報告者である雫石の(有)猿子園芸さんに直接赴きましたが、概ね Zoom 参加だろうと思っていた現地には、秋田、宮城、福島からそれぞれ車で駆け付け、山形を除いた5県が揃っているという熱の入りのようでした。

これだけ本気で様々な方が関わって仕上げた猿子さんの報告はとても素晴らしく、東北青年経営者フォーラムも無事成功し、本当に良かったと思う反面、この熱さを青森でという使命感に駆られる1日でした。

【記】(株)アイティコワーク 代表取締役

觸澤 篤司氏

基調講演で(有)猿子園芸の猿子さんの報告を聞かせていただきました。

猿子さんは、社員とのコミュニケーションを取ることが苦手だそうで本音で話ができない事が悩みだったそうです。同友会でも同様に本心を会員に話すことはほとんど無かったそうです。しかし今回の報告では猿子さんの本心をありのまま報告されていました。その背景には、フォーラム前日に社員が社長の報告する内容を聞いてみたいという一言がきっかけで急遽行われた社内発表会や、このフォーラムを開催するまでに関わってくれた東北の同友会会員の力があつたからだそうです。座長も以前行われたプレ報告の内容とは大幅に変更されて驚いていましたが、猿子さんの本心を聞くことが出来て嬉しかったと言っていました。同じ同友会でも、県外の会員さんに関わることでしか気づかない事や成長出来る事がたくさんあると確信できたフォーラムでした。

【記】(株)マルヤマ 代表取締役 大和 英樹氏

『安心して働ける会社とは？』

猿子さんの発表を聞いて、沢山のことに気付きました。特に共感した点は、社員のことを知らない、知ろうとしなかった…という点で私自身も、あまり社員と会話をしたりしていない、ということに気付きました。社員と共に幸せになるということを念頭に置いていたのに忘れてしまっていました。

改めて自分と社員との関係を考え、コミュニケーションをとり社員の幸せとは何なのかを知らなければならぬと思いました。

また、グループ討論では、社員が安心して働く会社とは？という議題で話し合いました。私のグループでは内面的な気持ちが大事なのではないかという結論に至りました。自分自身が必要とされている安心感、給料、社長は常に笑顔で接するだけでも社員の雰囲気はよくなっていくのではないかと、という考えをもって働いていきたいと感じました。

【記】(有)松竹梅造園 渡辺 芽吹氏



青森同友会からは6名(5社、事務局1名)で参加しました。

報告者は岩手同友会青年部部会長、(有)猿子園芸の代表取締役 猿子祐太氏による「同友会で会社が変わり、青年部で自分が変わった！～ビジョンの華を咲かせる企業へ～」というタイトルで報告していただきました。

猿子さんからは、今もなお悩み、もがきながら奮闘している報告をいただきました。同友会の例会に参加する事が目的となっていて、自社で何も実践できていなかった、同友会では楽しい場所づくりをしていた。との報告を受け、事務局として運営ばかり考えていた事に気付きました。作業の繰り返しではなく、会員さんに寄り添うことが必要だと改めて感じました。

グループ討論では参加者全員「人」がテーマでした。社員同士の意見の食い違いや、社員に対する接し方の問題等、色々な意見が挙がりました。安心して働ける会社にする為にはどうしたらいいか、明日来たくなる会社にするにはどうすればいいのか。社員が守られる会社にする為には、的確な指示と明確な指示が大事だという事。安心感を与え、やりたいようにやってみる、全て責任は自分が取る！といった大きな器

をこれから皆で作っていきましょう！と纏まりました。

最後には、青森支部青年部会の設立総会のアナウンスも行いました。これから青森同友会青年部会も他県との交流を通して、地域をまき込んで発展していきたいです。

【記】青森県中小企業家同友会 主任
松田 康太朗

青森県中小企業家同友会

青年部会設立総会

報告者
さとう けんいち
佐藤 賢一 氏
佐藤食品株式会社 代表取締役社長
〔秋田県中小企業家同友会 副代表理事、経営労務委員長、男鹿南牧地区会副地区会長、青年部会(あすか会)副部会長〕

定員 **80名** 限定!!
申込は早め!

〔会社概要〕本社：秋田県雄物川市大久保。事業内容：食品製造販売、カクチャウの生産、創業：1932年(昭和7年)、会社設立：1956年(昭和31年)、資本金：1,000万円、社員数：25名、年俸：2億5千万円、URL: <https://www.sato-jyokan.co.jp/>

伝統の継承と4代目としての実践

惣菜屋の長男で4代目となるべくして生まれた佐藤さん。社員の高齢化による会社存続の危機や、マーケットの縮小・商品の販売方法の模索など、沢山の課題に挑んできました。現在は伝統を大切にしながら新しい挑戦となる、新商品の開発も行っています。
惣菜という斜陽産業の中でどう取り組んでいるのか、赤裸々に報告いただきます！

と き ● **2022年7月14日(木)** 受付開始 14:30~
● 第1部 総会 15:00~16:00 ● 第2部 基調講演 16:00~18:00

と ころ ● ウェディングプラザ アラスカ (青森市新町1丁目11-22 TEL017-723-2233)

● 参加費 ● **6,000円(記念品付き)**
※7/5(火)以降のキャンセルはお受けできませんので、その際は退会費をお願いします。

新型コロナウイルス感染症対策のため、ご参加の際は【必ずマスク着用】の上、ご来場下さい。また、会場受付において体温測定を行いますので、必ずご使用ください。ご入場下さい。
体調不良の場合は無理せず、事務局に連絡の上、ご欠席下さい。
最急予診対応は全て会員の皆様が安心して定例会にご参加いただける環境づくりの為に実施しますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

参加申込書(7/4(月)まで) 郵出の口しきにご記入ください。お申込みはFAXまたはWEBで!!
☐ 第一部 総会 ☐ 第二部 基調講演
企業・組織名 _____
役 職 _____
お 名 前 _____
FAX 017-752-0170
青森同友会 検索
<http://saomori.doyu.jp>
専用の申し込みページよりお申込み下さい。
スマートフォンからもご利用いただけます。

青森県中小企業家同友会 〒030-0931 青森市平野町字母越 12-28-2F TEL017-752-0171

この度、青年部会を設立する運びとなりました。
つきましては、設立総会を開催致します。
同友会会員の皆様全員がご参加いただけますので、
是非ご参加下さい!!

- と き ● 2022年7月14日(木) 受付 14:30~
総会 15:00~16:00 基調講演 16:00~18:00
- と ころ ● ウェディングプラザ アラスカ (青森市)
- 参加費 ● 6,000円(記念品付き)

☆詳細は 青年部会設立総会案内 をご覧下さい☆

5月理事会報告 於:事務局 2022.5.11(水)

- 1) 年度方針の確認
 - 青森同友会新年度(2022年度)重点活動方針
 - 青森同友会3カ年ビジョン(2020~2022)
 - 2) 報告事項
 - 青森同友会の各種全県事業と全国行事について
 - ① 5月の各支部予定
 - ② 第25回女性経営者全国交流会 in 島根
 - ③ 中同協第54回定時総会 in 沖縄
 - ④ 北海道・東北ブロック支部長・地区会長交流会 in 宮城
 - ⑤ 第50回青年経営者全国交流会 in 兵庫
 - ⑥ 第53回中小企業問題全国研究集会 in 長野
 - 全県委員長会議について
 - 支部長会議について
 - 第19期経営指針を創る会について
 - 3) 審議・確認事項
 - 青森同友会の新型コロナへの対策について
 - 青森同友会第25回定時総会の振り返り
 - 青年部会設立の準備状況について
 - 青森同友会2022年度全県行事について
 - 年度会勢目標に向けての取り組みについて
 - 各支部、委員会からの報告
- 入退会 会員数 400名 / 入会 2社 退会 0社

6月理事会報告 於:事務局 2022.5.31(火)

- 1) 年度方針の確認
 - 青森同友会新年度(2022年度)重点活動方針
 - 青森同友会3カ年ビジョン(2020~2022)
 - 2) 報告事項
 - 青森同友会の各種全県事業と全国行事について
 - ① 6月の各支部予定
 - ② 第25回女性経営者全国交流会 in 島根
 - ③ 中同協第54回定時総会 in 沖縄
 - ④ 北海道・東北ブロック支部長・地区会長交流会 in 宮城
 - ⑤ 第50回青年経営者全国交流会 in 兵庫
 - ⑥ 第53回中小企業問題全国研究集会 in 長野
 - 全県委員長会議について
 - 支部長会議について
 - 第19期経営指針を創る会について
 - 3) 審議・確認事項
 - 青森同友会の新型コロナへの対策について
 - 青年部会設立の準備状況について
 - 青森同友会2022年度全県行事について
 - 第21回経営研究集会について
 - ブロック支部長・地区会長交流会について
 - 年度会勢目標に向けての取り組みについて
 - 各支部、委員会からの報告
- 入退会 会員数 398名 / 入会 0社 退会 2社

【次回開催日】2022年7月5日(火)13:30~/事務局会議室